

New Power Next Generation

新潟県議会議員

佐藤たかゆき

活動のご報告

佐藤たかゆきの新潟県内外の活動の一部を写真でご紹介します



アルビレックス新潟
酒井高徳選手後援会にて



下田公民館 女性セミナーの
皆さんを県議会にお迎えて



泉田知事に積極的に政策提言



下田 牛野尾谷地区の皆さんと
中山間地の活性化は県全体の重要課題



県企業局の水力発電施設にて
自然エネルギーの活用促進



表参道ネスバスへ
鍛冶雑炊をふるまう皆さんを激励に



三条市内の内水氾濫の様子
被害発生時は現場へ急行(本人撮影)



岩船沖油田プラントを訪問
CO₂地下埋設の可能性を調査



救命救急センターを併設する
新潟市民病院を視察
病院経営の実態を調査



全国DIYホームセンターSHOWにて
越後三条鍛冶集団の皆さんの
手ほどきで包丁づくり



トキめき新潟国体では
ボランティアの皆さんを
積極的に支援



東京農大 信岡研究室の
飼料米実験ほ場を訪問
耕畜連携の可能性を探る



たかゆき夏祭り
500人の皆様とのふれあい



H20 少子高齢・青少年対策
特別委員会副委員長として



たかゆき夏祭り
前日から
会場設営に取り組んだ
青年部のみなさんと

ホームページ上で政策や日々の活動をご紹介しますと共に、市民の皆様のご意見や質問を随時受け付けています。

<http://www.sato-takayuki.jp>

4年間の主な成果

1. 県立病院運営経費を年間約4億円削減！

県立病院会計は毎年20億円以上の赤字を計上し続けています。佐藤たかゆきは製薬会社勤務の経験を活かし、県立病院の薬剤購入価格が民間病院に比べて高すぎることを指摘。1年目から約1億8千6百万円の経費節減を実現。現在では年間約4億円の経費節減に結びついています。

2. 県央地域への基幹病院、救命救急センターの設置促進！

医師、看護師を確保するには500床規模の魅力ある病院(マグネットホスピタル)とすること、検討会には市町村長だけでなく実際に地域医療の現場を担っている医療関係者を含めること等々、数多くの具体的提言を行い県議会における議論をリード。一日も早い実現に全力で取り組んでいます。

3. 新通川、島田川の改修に道筋！

初当選直後より、7.13水害からの復旧・復興、水害の心配のないまちづくりを最大テーマの一つに掲げて積極的に活動した結果、信濃川下流河川整備計画(通称30年計画)のうちの一つに過ぎなかった新通川、島田川の改修に早期事業開始の道筋をつけました。

4. 景気雇用対策、中小企業支援に全力！

一昨年の世界同時不況発生直後から、三条商工会議所をはじめとする諸機関、事業所を訪問し要望を聴取。セーフティネット融資の充実や県工業技術総合研究所の設備拡充、NICOの支援拡充等に努める一方、中小企業緊急雇用安定助成金の教育訓練メニューの充実を訴え、県内に先駆けて燕三条地場産センター主催の研修会が実現。その後、研修会の取り組みは全县に広がりました。

5. 県庁と市役所のスムーズな連携を促進！

「県政と市政、市民のつなぎ役」は県議員の重要な仕事です。県関係機関のみならず、日頃から頻りに市役所等を訪問して問題の掘り起こしに努めた結果、三条市内の内水対策に関する県と市の合同検討会が設置され、また、地域から要望が大きい交通信号機の設置数が大幅に増えるなど「つなぎ役」の成果が着実に現れています。

6. 現場の声を踏まえた数多くの議会質問

本会議や、これまでに所属した「厚生環境」「建設公安」「産業経済」などの各委員会において数多くの質問を行い、地元三条市や県央地域、新潟県が抱える様々な問題にスポットライトを当て、質問を通じてその解決を力強く訴えてきました。実現した成果の多くには実際に自ら現場に赴いて直接お聞きした住民の皆さまの声を反映されています。

